2020 年 10 月 5 日

シングルサインオン・ID 管理サービス「ID Federation」において、新たな生体認証メニューの提供を開始

NTT コミュニケーションズ株式会社(以下 NTT Com)は、さまざまなサービスへのシングルサインオン※1 や多要素認証※2、ソーシャルログイン※3 などによる利便性・セキュリティの強化を可能にする ID 管理サービス「ID Federation」において、次世代認証サービスである国際標準規格 FIDO UAF 1.1※4 に対応した既存のメニューに加え、新たに FIDO2※5 に対応した「生体認証メニュー」(以下 本メニュー)の提供を、2020 年 10 月 5 日より開始します。

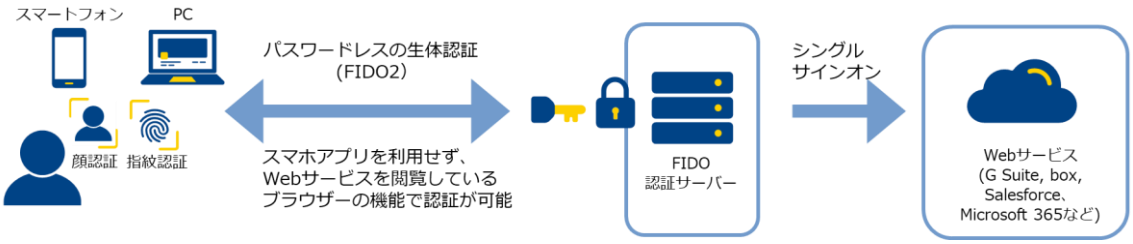
1. 背景

昨今の新型コロナウイルス感染拡大によりリモートワークを導入する企業が増え、マルウェア感染や情報漏えいのリスクから、ゼロトラスト※6 にもとづいたセキュリティ対策に注目が集まっています。企業では、さまざまな業務システムや Web アプリケーションを利用していることが多く、それぞれのパスワードの管理が煩雑となっています。その結果、利用者はパスワードを使い回しすることが多く、セキュリティリスクが懸念されています。このようなリスクに対応するため、管理が煩雑となるパスワードそのものを利用しない、セキュリティと利便性を兼ね備えた生体認証サービスへのニーズがますます高まっています。

これらのニーズに応えるため、これまで提供してきた FIDO UAF 1.1 対応のメニューに加えて、今回 FIDO2 に対応したメニューを新たに提供開始します。

2. 本メニューの概要・特長

パスワード不要で、顔認証、指紋認証のいずれかによるログインを可能にするサービスです。Web サービスを閲覧しているブラウザーから、同一端末に搭載されている生体認証器を呼び出し、認証します。そのため、FIDO UAF 1.1 の際に必要だったスマートフォンの専用アプリを利用することなく、セキュアで手軽な認証を実現しています。



FIDO2 を利用した認証のイメージ (シングルサインオンと併用する場合)

NTT コミュニケーションズ株式会社　広報室
NTT Communications Corporation Public Relations Office
〒100-8019　東京都千代田区大手町 2-3-1　大手町プレイスウエストタワー
OTEMACHI PLACE WEST TOWER 2-3-1 Otemachi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8019, Japan
Tel (03)6700-4010 International +81 3 6700 4010

(1) 多要素認証による高い安全性

認証時に、利用端末とは別にスマートフォンの専用アプリが必要だった FIDO UAF 1.1 と比較し、FIDO2 は利用中の同一端末内で認証を行うため、端末間の通信が不要となり、より安全な認証が可能です。また、パスワードを使わず、利用者本人しか持っていない生体情報で認証することで、複製や偽装、なりすまし防止など、ゼロトラストにもとづいたリスク対策にも有効です。

なお、利用者の端末に結びついた暗号化鍵情報と、利用者の生体情報とを併用することで多要素認証を行うため、より強固なセキュリティの実現が可能です。さらに、FIDO 規格の生体認証と他の認証手段を組み合わせることで、企業のセキュリティーポリシーに応じた Web サービスの利用も可能です。

(2) スマートフォンの専用アプリが不要で、高い利便性

スマートフォンや PC などの利用端末に生体認証器が搭載されていれば、専用アプリを利用することなく、生体認証による Web サービスへのログインが可能です。また、生体認証器が搭載されていない PC でも、USB 型の認証器※7 を利用することにより、スマートフォンの専用アプリを利用することなく認証が可能です。

(3) 標準認証プロトコルにより、短期間で簡単に導入可能

本メニューは、さまざまなアプリケーションで利用できる標準認証プロトコルの 1 つである SAML※8 に対応しております。SAML に対応しているアプリケーションとの接続時には、個別の設計・構築をする必要がないため、短期間で簡単に導入が可能です。また、SaaS 型のサービスであるため、ご利用 ID 数に応じた料金体系となっており、少ない ID 数から導入いただけます。

3. 提供開始日

2020 年 10 月 5 日

4. ご利用料金、お申し込み方法

NTT Com 営業担当者までお問い合わせください。

5. 今後の展開

働き方改革や新型コロナウイルス感染拡大により、企業のリモートワークが引き続き増える中、ID Federation を活用した、利便性が高く、よりセキュアな認証サービスを提供することにより、お客さまの DX 推進に貢献してまいります。

※1： シングルサインオンとは、複数のアプリケーションを利用する際に、利用者が一度認証を受けるだけで、許可されているすべてのアプリケーションを利用できるようにすることです。

※2： 多要素認証とは、利用者の本人認証時に知識情報・所持情報・生体情報などから複数の要素を用いて認証することです。

※3： ソーシャルログインとは、Twitter や Facebook などの既存 SNS アカウントを使って別のサービスにログインできる仕組みです。

※4： FIDO UAF 1.1 とは、Fast IDentity Online Universal Authentication Framework 1.1 の略称です。認証時に、利用端末とは別にスマートフォンアプリを用いて、パスワードレスの認証を提供する仕組みです。

※5： FIDO2 とは、Fast IDentity Online 2 の略称です。利用端末のブラウザー機能と、同一端末に搭載された認証器を用いて、パスワードレスの認証を提供する仕組みです。

※6： ゼロトラストとは、社内は安全であるという前提の下に境界だけを守るのではなく、社内外すべてが信頼できないことを前提とした、情報セキュリティ対策の概念です。

※7： USB 型の認証器は、2020 年 12 月対応開始予定です。

※8： SAML とは、Security Assertion Markup Language の略称であり、異なるインターネットドメイン間でユーザー認証を行うための XML をベースにした標準規格です。